

令和3年度

令和4年1月7日

学校だより



かもいの(な)か(ま) 一人じゃないよ!

夢に近づけ 今、鴨居がいいカモ!

横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

2022年(令和4年)もできることに全力で

校長 立花 充

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

「学ぶこと。そしてその学んだことを生かすこと。そんな私たち人間がもつ素晴らしい力が、コロナ禍にあっても、今の私たちの生活を創っている。さらによりよい生活を創るために、新しい年も学び続けましょう。」

冬休みに入る前の朝会で、子どもたちにこんな話をしました。コロナ禍二年目の2021年(令和3年)。さまざまな制限がある中でも、一年目にできなかったことが二年目ではできたことがいくつもありました。授業参観。6年生の水泳学習。4・5年生の宿泊体験学習。修学旅行。各種の出前授業。児童の皆さん、保護者の皆さん、そしてまちの皆さん、みんなで力を合わせ、一年目に「学んだこと」を生かして進んできた結果でした。

新たな変異株による感染拡大が心配される年の初めではありますが、三年目となる今年には、コロナ禍にあっても、さらに「学んだこと」を生かして、二年目よりもさらに一歩前に進んでいきたいですね。

そしてもう一つ。どんな状況でも、今を一生懸命生きること。今できることに全力で取り組むこと。年末に6年生の卒業文集の原稿を読ませていただきました。そこには、「運動会。リレーや騎馬戦ができなかったのは残念だったけど、その分、徒競走とソーラーション節に全力で取り組んだ。心に残る運動会になった。」

「日光には行けなかったけど、箱根で思い切り楽しんだ。友達と最高の思い出ができた。」等のとても前向きな言葉があり、大変うれしくなりました。そして、パラリンピックの父と言われるグッドマン博士の言葉を思い出しました。

「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ。」

できないことを嘆くより、できることを最大限に楽しむ。コロナ禍はもちろん、これからもずっと大切な精神だと思えます。

2022年(令和4年)も、できることに全力で取り組む一年にしていきたいと思います。